

平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
看護	生活と看護(解剖生理)	2	1-1

1. 学習の到達目標

- ・看護のための基礎知識をしっかりと身につけて専門科目の学習を通して看護に適應できる能力を養うことによって立派な看護師になることの意識・意欲を高める
- ・解剖学の授業を通して生徒の人権意識を高めるように努める

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	①総論 ②人体の構成 ③運動器系総論 中間テスト ④運動器系総論 I 骨学総論 II 筋学総論 期末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・人体の区分と名称・方向、人体の位置や体位を示す用語を理解し、また、生理機能について理解し、自分の体でその部位の名称が言える ・人体を構成する細胞、組織、器官とは何かを理解する ・人体がどのような機能系で組み合わさっているかを理解する ・看護者の倫理要領を用いて、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し人間的配慮をもって対応することを理解する
2 学 期	⑤体幹・上肢・下肢の解剖学 I. 体幹の骨と筋 II. 体壁の血管系と神経 III. 上肢の骨と筋 IV. 上肢の血管系と神経 V. 下肢の骨と筋 中間テスト VI. 下肢の血管系と神経 ⑥頭部の解剖学 I. 頭部の骨と筋 II. 頭部の血管 ⑦体液 I. 血液 II. リンパ 期末テスト ⑧循環器系 I. 心臓 II. 血管 III. 血液の循環 IV. リンパ系とリンパ組織 V. 心臓の整理 VI. 循環の生理 血圧 VII. 脾臓の生理	<ul style="list-style-type: none"> ・骨の構造、発生、成長と生理、骨同士の結合の仕方、筋の構造、補助装置刺激、興奮のメカニズムについて理解する ・体幹・上肢・下肢を構成する骨と筋肉そして、血管や神経の名称と運動について理解する ・骨の構成や筋肉の働き、分布する血管や神経の名称などについて理解する ・血液の成分、性状、血液凝固、血液型、リンパなど臨床と関係の深い項目を理解する ・血液の循環について理解する
3 学 期	⑨呼吸器系 I. 呼吸器系の器官 II. 呼吸の生理 ⑩消化器系 I 消化器の生理 ⑪体温 ⑫泌尿生殖器系 ⑬内分泌 ⑭神経系 ⑮感覚器系 学年末テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸の役割を理解し、呼吸運動、呼吸の調節、吸息と呼息の交代リズムなどを理解する ・消化器役割を理解する ・泌尿器役割を理解する ・内分泌・神経系・感覚器系の役割を理解する

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査、提出物、授業態度等による
------	-----------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	看護に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている	看護業務に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫できるようにする	看護の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、合理的に計画、処理するとともに、その成果を的確に表現する	看護の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、看護の意義や役割を理解している

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	看護学入門 1 巻 人体のしくみと働き (メジカルフレンド社)
副教材	